



J A F 公認・準国内競技

# 2017 SCCN NOVEMBER RACE MEETING in TSUKUBA

## 大会特別規則書

開催日 : 2017 SCCN NOVEMBER RACE MEETING in TSUKUBA  
2017年11月19日(日) 公式予選・決勝レース

開催場所 : 筑波サーキット

主催 : ニッサンスポーツカークラブ (SCCN)  
日本ダットサンクラブ東京 (NDC-TOKYO)

プロモーター : 株式会社 エヌ・スポーツ

公認 : 日本自動車連盟 (J A F)

協力 : VITA TROPHY RACE ASSOCIATION (V.T.R.A.)  
セブンレースアソシエーション (SRA)  
ALL FOR ONE RACING ASSOCIATION (A.F.O.)  
Legend Cars Race Association (LRA)

公示  
本競技会は、日本自動車連盟 (JAF) 公認のもとに国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則及びそれに準拠した JAF 国内競技規則、とその付則並びに、筑波サーキット 4 輪一般競技規則書、本競技会特別規則書により準国内競技として開催される。

本規則には、セブンレースアソシエーション発行の「ケータムカップスーパーセブンレース規則書」、VTRA 発行の「VITA Trophy 規則書」、LRA 発行の「Legend Car Sporting & Technical Regulation」、A.F.O. 発行の「P-FR/AE86 Race 規則書」、「2017 マーチ・レース規則書」、「GT66 レース規則書」が含まれる。

**第1条 競技会の名称 :**  
2017 SCCN NOVEMBER RACE MEETING in TSUKUBA

**第2条 オーガナイザー :**  
ニッサンスポーツカークラブ (SCCN) 代表者 山梨 一成  
所在地 東京都品川区西五反田 8-8-1 6-903  
TEL 03-6421-7967 FAX 03-6421-7968

日本ダットサンクラブ東京 (NDC-TOKYO) 代表者 片山 忠夫  
所在地 東京都品川区西五反田 4-32-1 東京日産自動車販売 (株) 営業支援部内  
TEL 03-3631-2107 FAX 03-3631-2107

**第3条 競技会組織委員会 :**  
委員長 山本 修二  
委員 安斎 友望 山本 修二 鈴木 洋洲 日置 和夫

**第4条 競技会審査委員会 :** 委員長 藤本 康孝  
委員 片山 忠夫

**第5条 競技執行役員 :** 競技長 三好 隆幸  
副競技長 山本 修二 安斎 友望  
コース委員長 山本 修二 計時委員長 金塚 隆一  
技術委員長 鈴木 明良 救急委員長 船崎 克実  
医師団長 渡辺 善徳 事務局長 山住 俊浩

**第6条 開催場所 :** 筑波サーキット (1周 2.045km) 茨城県下妻市村岡乙 159  
TEL 0296-44-3146

**第7条 開催日 :** 2017年11月19日(日) 車両検査・予選、決勝

**第8条 レース区分、周回数、決勝出走台数 :**

レース区分	略称	周回数	走周回数	決勝出走台数
耐久 VITA	VITA	150分		30台
耐久 Legend Car Cup	Legend			
スーパーセブンレース	セブン	15周	10周	30台
P-FR/AE86	P-FR/AE86	15周	10周	30台
86 / BRZ N1	86 / BRZ N1	15周	10周	30台
GT66 レース	GT66	15周	10周	30台
マーチレース	マーチ	15周	10周	30台

※参加台数が決勝出走台数より多いクラスはコンソレーションレースを実施する場合があります。その場合は、公式通知で示される。  
※参加台数が少ない場合は他のクラスと混走になる場合がある。  
P-FR & AE86、MARCH & GT66 は混走別表彰とする。

## 第9条 参加車両 :

- 本競技会への参加を許される車両は、2017年国内競技車両規則に従った以下の車両とする。
  - 耐久 VITA Trophy : VTRA 発行の「VITA 規則」の車両規定に合致する車両。
  - 耐久 Legend Car Cup: LCJ 発行の「Legend Car Sporting & Technical Regulation」の車両規定に合致する車両。
  - P-FR/AE86 レース : JAF 国内競技車両規則第1章第1条N1 : 量産ツーリングカーで第3章公認および登録車両に関する一般規定、第4章公認および登録車両に関する安全規定に準拠し、改造の限度は第5章量産ツーリングカーに許される改造とし、AE86 は第3章第3条 3.2) 最低重量は 830kg、また第5章第5条 5.5) 窓ガラスは他の透明な材質に変更することが出来る。
  - スーパーセブンレースシリーズ : SRA 発行の「ケータムカップスーパーセブンレース規則」の車両規定に合致する車両。
  - マーチレースシリーズ : A.F.O. 発行の「2017 マーチ・レース規則」の車両規定に合致する車両。
  - GT66 レース : A.F.O. 発行の「2017 GT66 レース規則」の車両規定に合致する車両。
- 参加車両規定の補足規定
  - 筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 15 条 10. に記載の通り、カメラ (ビデオ) 等の搭載は競技会事務局に届ける必要がある。尚、公式車両検査時に取付方法等の検査を受けること。
  - P-FR/AE86 レースの参加車両はロールバー及びロールケージの運転席側と助手席側にサイドバーを取り付けなければならない。材質及び、連結方法は J A F 国内競技車両規則第4章に準拠すること。その他のレース区分の参加車両は、本大会特別規則付則当該レース区分車両規定に準拠すること。
  - シャシーの構成要素であるフレーム及びサブフレームは一切変更、改造、切除を行ってはならない。
  - 国内競技車両規則第5章量産ツーリングカーの規定に従って車両の部品交換を行った場合はパーツリスト、カタログ、パンフレット等のコピーを改造申告書に添付しなければならない。車検時において部品番号及び部品名称がこれらの文書により現品と照合、確認できない場合は失格とする。
  - 排気音量規制 : 本大会への参加車両は下記の規定による排気音量規制に合致しなければならない。
    - 排気音量の検査方法 : 国内競技車両規則付則「レース車両の排気音量測定に関する指導要綱」による。
    - 各レースの排気音量規制値 : 上記 (1) の検査方法に基づく距離 3m の排気音量規制値は下記の通りとする。  
N1.....9.0 db(A) 以下  
NR-A / ワンメイク.....シリーズ規定による

## 第10条 参加申込 :

- 受付期間 : 10月16日(月)~10月30日(月)
- 受付場所 : ニッサンスポーツカークラブ (S C C N)  
住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-8-16-903  
TEL: 03-6421-7967 FAX: 03-6421-7968
- 提出書類
  - 参加申込書、保険加入申込書又は、保険加入済申告書 (参加申込書裏面)
  - 車両改造申告書又は、車両仕様書 : いずれも所定の書式に必要事項を記載、署名捺印の上、受付期間内に申込むこと。
  - 参加受理又は拒否の通知 : 参加申込みの受付締切後に、エントリー宛参加受理又は、参加拒否の通知を送送する。参加を拒否されたエントリーに対しては、参加料、保険料は返還する。
- 車両名称は、筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 13 条に従うこと。  
ワンメイクで規定があればそれを優先する。  
例、○○○○シルビア  
漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字、点等全て 1 文字と数える。
- エントリーは筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 2 章を周知徹底させておく義務があり、万一ドライバー及びピットクルー、招致したゲストが規則違反した場合、事故を起こした場合、事故に遭遇した場合は、その責任を負わなければならない。

## 第11条 参加料、保険料 :

- 参加料 (1台につき)  
耐久 VITA、Legend Car Cup..... 82,620円  
P-F R 及び A E 8 6 / 86&BRZ N1..... 44,200円  
スーパーセブンレース..... 協会指定による。  
マーチ / G66 レース..... 38,800円  
※参加料はすべて消費税 (8%) を含んだ金額です。
- 保険料 (未加入者)  
ドライバー・ピットクルー 各々 2000円/年 (スポーツ安全保険の会員になって頂きます。)  
※スポーツ安全保険または類する保険に加入している場合は、不要。但し、その旨を申告すること。  
※ドライバーは 900 万円以上、ピットクルーはそれぞれ 400 万円以上の保険に加入しなければならない。既に加入済のものは、その旨を定められた書式によって申告するものとし、加入保険金額が上記の額に満たない者はその不足分について必ずオーガナイザーが指定する保険に加入しなければならない。

- ならない。  
3. 保険金の支払 : 保険金の支払は、各保険会社、共済会の支払い方法に基づく。

## 第12条 参加資格 :

- エントリーは、2017年度有効な JAF 発給のエントリー許可証の所持者であること。
- ドライバーは、2017年度有効な JAF 国内競技運転者許可証 A 以上の所持者であること。20歳未満のドライバーは、参加申込書に親権者の署名捺印をし、承諾書を提出すること。  
(1) マーチ、GT66,AE86,P-FR,86/BRZ : A.F.O. 発行の「規則書」による。  
(2) スーパーセブン : SRA 発行の「規則書」による。  
(3) Legend Car Cup : LCJ 発行の「規則書」による。  
(4)VITA : VTRA 発行の「規則書」による。
- ピットクルー  
(1) 競技に参加が許されるピットクルー : 18 才以上でエントリーに指名登録された者で、保険手続きが完了した者でなければならない。スポーツ安全保険 (2000 円/年) に加入すること。

## 第13条 車両仕様書 :

参加車両は、変更又は改造の詳細を (規定の範囲内で変更を行っている場合であっても) 車両仕様書に記入し、参加申込みの時に提出しなければならない。これを怠ったり、虚偽の内容であることが判明した場合は、参加を拒否されるか、失格とされる場合がある。但し、車検 1 時間前までに車両仕様書の修正あるいは再提出ができる。

## 第14条 公式車両検査 :

- 筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 3 章を参照のこと。
- 公式車両検査を受ける参加車両 (NR-A の車両は各規則による) の燃料は、全て抜き取られていなければならない。
- ドライバーは筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 4 章第 20 条 3. で耐火性の装備を装着しなければならないが、アンダーウェア・ソックス等装着は推奨とする。

## 第15条 競技番号 :

- 参加車両は、競技会事務局によって定められた競技番号を付けること。尚、競技番号の決定に対する特別な要求は受け付けられない。
- 記入方法は、筑波サーキット一般競技規則書第 3 章第 10 条を参照のこと。但し、各レース区分の規定に定められたものはその規定に従わなければならない。

## 第16条 ピット作業 :

- 筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 5 条 3. のピットクルーにより筑波サーキット 4 輪一般競技規則第 38 条のピット作業の規定が遵守されること。ピット作業はピットエリア内で行われることをいう。
- 安全のため、サインボードはピットボックスより出され、ピットエリアを出してはならない。
- ピットボックス内の喫煙 (喫煙は所定の位置のみとする)、その他火気は一切厳禁されると共に、登録されたピットクルー以外のものが、ピットボックス内に立ち入ることも禁止される。これらに対しては、消火器その他のピットボックス内の機材の保全と共に、当該ピット責任者が管理にあたるものとする。
- 予選・決勝終了後は速やかにピットボックスを明け渡さなければならない。これに違反した場合は罰則の対象とする。

## 第17条 ピットレーンの速度規制 :

筑波サーキットのピットレーンの通過制限速度は 40 km/h 以下となっている。

## 第18条 公式予選 :

- 公式予選はタイムトライアルによって行い、以下の方法によってスターティングポジションを決定する。予選ベストラップタイムの上位よりレース区分に従った決勝出走台数を予選通過者とし、スターティングポジションをタイム順に決定する。但し、同一ベストラップタイムを記録した場合の先順決定は、ベストタイムを早く記録したものを優先し、ポールポジションは原則としてイン側とする。但し、予選を 2 組 (A、B) に分けて行う場合は、各組のベストラップタイム順にその組ごとのスターティングポジションが与えられる。ポールポジションは原則として 2 組を通じてベストラップタイムを記録した組をイン側とする。但し、各ワンメイク規則書に記載の場合はその方法となる。
- 公式予選中は、ピットロード出口に緑/赤のライトが設けられる。車両は、緑のライトが点灯している時のみコースインする事が出来る。
- 予選通過車が決勝出走台数に満たない場合は、競技長の判断と競技会審査委員会の承認によって予選不通過車に対し最後尾よりスターティンググリッドを与えることができる。但し、そのドライバーは、出走願書 (手数料として 1 件 10,800 円) を競技会事務局に提出しなければならない。

## 第19条 車両交換及びドライバーの変更 :

- 参加申込正式受理後の車両交換は、参加車両に故障、破損等のやむを得ない事情がある場合に限り、その理由を付して変更手数料 (10,800 円) を添え競技会事務局に提出し、競技会審査委員会の承認を得た上でその車両が公式車両検査時間内に合格していなければならない。但し、本規則に定める規定に一致した同部門同クラスであること。
- 参加申込正式受理後のドライバーの変更は、ドライバーに疾病、けが等やむを得ない事情がある場合に限り、公式予選日の参加確認時までに、その理由を付して変更手数料 (10,800 円)

を添え、競技会事務局に提出し、競技会審査委員会の承認を得なければならない。但し、ドライバー変更は、同一エントラントの場合でのみ変更が可能となる。

## 第20条 車両保管：

- 公式予選に通過した車両は、指定の保管場所（車両待機場所）に必要な時間保管される場合がある。
- 保管場所（車両待機場所）からの車両の出入りは、すべて競技役員の指示に従わなければならない。
- 保管中の車両をエントラント（ドライバー）が修理あるいは点検する場合は、その理由を所定の文書に記入し、手数料（10,800円）を添え、競技会事務局に提出し、技術委員長への承認を得た上、所定の時間内に行うこと。但し、持出した車両の再検査は出走前点検の以前に終了していること。

## 第21条 スタート：

- 筑波サーキット4輪一般競技規則第6章による。
- スタート方式：スタンディングスタートとする。但し、耐久はローリングスタートとする。
- グリッド：全レース、スタッガードとする。
- フォーメーションラップ
- スタート合図（耐久は筑波サーキット4輪一般競技規則第6章による。）
  - 全レースのスタート合図はシグナルランプによる。赤点灯→消灯（消えた際がスタートとなる）
  - スタート合図後10秒を経過してもスタートできない車両は、競技役員の指示に従って自己のピットまで押し戻し、修理の後レースに参加できる。

## 第22条 競技中（レース中）の規定：

- 筑波競技規則第8章による。
- ドライバーは競技車両を走路に沿って押し進めたり、あるいは車両を押し進めてコントロールラインを超えてはならない。
- セーフティカー：国際モータースポーツ競技規則付則H項の規定を適用する。
- レースの中断及び再スタート
  - 安全を確保の為緊急にレースを停止させる必要がある場合は、競技長の決定によりスタート/フィニッシュラインに於いて赤旗を表示する。赤旗の表示と同時に監視ポストでも赤旗が表示される。ドライバーは直ちにレース（競技）を中止し、細心の注意を払いながら最徐行で移動し、赤旗ラインで停止しなければならない。赤旗ラインは筑波サーキット4輪一般競技規則第40条1.ピットロードも含む最終コーナー中付近（7.5ポスト前、最後尾グリッド付近）とする。

## 第23条 レース終了・レース終了後の車両保管・再車検：

- 筑波サーキット4輪一般競技規則第8章第45条による。

## 第24条 レースの延期・中止・短縮：

- 筑波サーキット4輪一般競技規則第8章第42条による。
- 各レース区分の参加申込台数が10台に満たない場合は、そのレースの挙行を中止、レース区分の合併、レース距離の短縮を行う場合がある。

## 第25条 公式通知：

- 本規則に記載されていない競技運営に関する実施細則及び、エントラントへの指示事項は公式通知によって示される。

## 第26条 抗議：

- 筑波サーキット4輪一般競技規則第9章による。
- 抗議は文書により行い抗議料として1件につき20,900円を添え競技長宛とし、競技会事務局に提出しなければならない。
- 役務に付いている競技役員は、たとえ抗議が提出されている場合であってもそれとは関係なく自己の権限と役務を正当に執行する。
- 参加車両に対する抗議は、1ヶ所に付き1件とし、抗議対象となる箇所を明確に記入すること。抗議によって必要とされる車両の分解費用等は、その抗議が却下された場合は抗議提出者が、成立した場合は抗議対象者が支払わなければならない。またこの車両の分解等に要した費用は技術委員長が算出する。

## 第27条 抗議の制限・裁定：

- 筑波サーキット4輪一般競技規則第9章第47条による。
- 車両または、ドライバーに対する抗議は、その競技スタート1時間前までとする。
- 競技会審査委員会の裁定結果は、関係当事者に通告後、公表される。
- 競技会審査委員会において審議の結果、ただちに裁定が下されない場合は発表の日時と場所を明示して裁定を延期する。

## 第28条 賞典：

- 競技結果にしたがって以下の賞が授与される。
  - AE86、P-FR、VITA、Legend Car、スーパーセブン

	オーガナイザー賞	JAF賞
優勝	トロフィー	メダル
2位	トロフィー	メダル
3位	トロフィー	メダル
4位	トロフィー	
5位	トロフィー	
6位	トロフィー	

## 2) マーチレース：

	オーガナイザー賞	JAF賞	WAKO'S賞	SEV賞
優勝	トロフィー	メダル	商品	商品
2位	トロフィー	メダル	商品	商品
3位	トロフィー	メダル	商品	商品
4位	トロフィー			
5位	トロフィー			
6位	トロフィー			

## 3) ご協賛会社のご提供による賞典は決定次第、公式通知に示す。

### 2. 賞の制限

賞典は、決勝出走台数により賞の制限を以下の通り行なう。

- 決勝出走台数12台未満の場合は賞金額は60%とする。
- 入賞は6位を越えない決勝出走台数の50%（端数切捨）とする。

### 3. 順位の認定

順位の認定は周回数と最終のコントロールラインの通過順による。但し、優勝者のレース距離の70%（端数切り捨て）に満たない者は順位の認定を行わない。但し、各シリーズ規則などで制限が有ればシリーズ規則による。

## 第31条 エントラント及び、ドライバーの遵守事項

筑波サーキット4輪一般競技規則第2章による。

## 第32条 損害の保証

- エントラントは、参加車両及びその付属品が破損した場合、理由の如何を問わずその責任は各自が負わなければならない。
- エントラント、ピットクルー、ドライバーはオーガナイザー及び競技会役員が一切の損害責任を免除されていることを了承しなければならない。競技会役員は、その役務に最善を尽くすことはもちろんであるが、役務遂行によってエントラント、ドライバー、ピットクルーが負傷又は、死亡し、あるいは車両の損害が発生した場合であってもオーガナイザー、競技会役員は一切の責任を負わない。

## 第33条 本規則の解釈

本規則、筑波サーキット4輪一般競技規則及び、本競技会の競技に関する諸規則や公式通知の解釈について疑義が生じた場合、エントラントは文書によって異議申立てが出来る。これに対する回答は、競技会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 第34条 本規則の違反

本規則、筑波サーキット4輪一般競技規則に対する違反の裁定は、競技会審査委員会が行い訓戒、罰金、黒旗によるペナルティストップ、ピットストップ、ドライビングスルーペナルティー、周回数の減算、タイムの加算、出場停止、失格等が違反の軽重によって適用される。

- 燃料補給の停車時間は8分以上とする。燃料補給場所は、ガソリンスタンドとし、ドライバー交代を行う場合は、ドライバー交代エリアとする。
  - 3回以上のガソリン補給を要する場合も、「燃料補給」の停車は8分とする。

### 3) 燃料供給方法

給油所への進入はオフィシャルの合図により許可される。

- オフィシャルの指示に従い、手押しにて給油所に進入し、燃料補給作業を開始する。
  - 燃料補給作業はオーガナイザーが選任した給油担当者により、以下の手順にて行われる。
    - 燃料タンクの給油口を開ける。またはカップリングを燃料注入口に差し込む。
    - 給油する。
    - 給油口を閉める。またはカップリングを燃料注入口から抜く。
    - こぼれた燃料を拭き取る。
    - 給油所係員より給油量の伝票を受け取る。
      - ※①、③、④、⑤は、給油立会いのメカニックまたはドライバーが行なう。
      - ②は給油担当者により行なわれる。
  - 手押しにて給油所から移動し、ドライバー交代エリアにて時間経過を消化する。
- 8分間の計測は、燃料補給計測開始ラインを超えた時点で計測を始め、終了ラインを超えた時点で時間とする。（自チームの時間を確実に計測すること。）
    - 8分間には、
      - 交代エリアで、ドライバー交代を行うことができるが、窓ふき、タイヤのトルクチェック、エアチェックを除き、他の作業は出来ない。
      - リベアエリアで作業が必要な場合、作業終了後、燃料補給とドライバー交代が認められる。但し、リベアエリアでの作業終了後、8分間の計測を開始とする。
      - 予選は、オイル、油脂、ガソリンの給油は一切禁止される。

### 5) 燃料供給量：

- 1回の燃料補給は、**19**リットル以下とする。
  - ガソリン購入は、ガソリン券を購入し、ガソリン券で支払わなければならない。
  - ガソリン購入の際には、1リッター単位での販売となり、釣り銭に相当するガソリン券の返却はない。
  - 払い戻しは、ガソリン券との引き替えでおこなう。ガソリン券を紛失した場合は引き替えには応じられない。
- 連続運転の義務：①各ドライバーは最低10分以上連続運転（燃料補給・作業時間のためのピットインは除く）すること。

- もし、赤旗が出て第1パート、第2パート等になった場合は、合算したレース時間の70%以上で成立とする。この場合も、5.1)、6、は適用される。但し、天候他の事由により時間が変更される場合がある。別途公式通知が発行されるものとする。
- また、ドライバー交代中、燃料補給中に、赤旗によりセーフティカーが導入された場合以下の通りとする。
  - セーフティカー導入の場合：交代時間は続行となり、ドライバー交代は可能とする。但し、コースインはピットエンドのシグナルによる。
  - 赤旗の場合：ドライバー交代をした車両はピットスタートとなる。但し、交代残り時間を考慮し、ピットエンドへの進入順位を決定する。

- 最低車両重量：レース終了後、各チーム1~3名のドライバーのうち最重量のドライバーにより最低レーシング重量を満たしていればよい。計測されるドライバーは、レーシングスーツ、ヘルメット等を着用し、いつでもコースへ出られる状態であること。

以上  
競技会組織委員会

## 耐久 VITA, Legend Car 150 分耐久レース補足規定

- 参加人数（ドライバー）：**1名**~3名とする。
- タイヤに関して1) 予選/決勝を通じてタイヤの使用は2セットまでとし、車検時にマーキングされていること。
  - 決勝スタート時に装着されるタイヤは車検時にマーキングされたものを装着し、タイヤ溝はスタート時に1.6mm以上有れば良いものとする、ゴール時点では、タイヤマーキングが残っていないてはならない。
- 決勝前燃料確認：①燃料初期搭載量は各チームで管理すること。
- レース時間150分とする。完走車両は、チェッカーフラッグを受けたものとする。

- 予選：決められた予選時間内に参加するドライバーの**1人**以上が走行し、各クラスの上位3台の平均130%以内のタイムで走行していること。走行タイムが130%に満たない場合は、出走出来ない場合がある。各チームのベストタイムでグリッドを決定する。決勝：ローリングスタートとする。決勝出走車両のVITAを第1グループ、Legend Carを第2グループとして、各グループの先頭にオフィシャルカーを配置し、2グループに分かれてのローリングスタートとする。

- 正式予選結果発表後、各チームスターティングドライバーを競技会事務局へ書面をもって申告すること。
- VITAクラス：シリーズポイントは通常と同じポイントが与えられる。

### 5.燃料補給、車両のリベア

- 決勝時、各車両は燃料補給及びドライバー交代のため、最低2回のピットエンドよりパドックインをすること。その際に、「燃料補給」「車両リベア」を申告すること。